

アーチェリー標的紙固定専用ピン 「テックピンS」に関する知財支援

支援機関 株式会社 伊予銀行 支援内容 知財支援 支援区分 知的資産経営

ツウテック株式会社

事業者 概要

社名／ツウテック株式会社
代表者名／代表取締役社長 増田 和俊
業種／各種精密部品加工
所在地／東温市南方2195-7
資本金／10,000,000円
設立／平成2年
従業員数／32名



テックピンS

支援に至る経緯

ツウテック株式会社（以下、「当社」という）は精密部品の切削加工を主力業務とする企業である。新たな事業展開の1つとして、社外アドバイザーとして愛媛県アーチェリー協会 平塚理事を迎え、アーチェリー競技における標的紙の固定ピンの開発に着手した。動機付けとしては「どのような姿勢からでも軽く抜き差しができる固定ピンがあれば全ての競技者が助かる」という声であった。

当社より、国内外の従来製品の問題点洗い出しと差別化要素検討および製品開発完了後の知的財産についてどのように押さえればよいか相談を受けた。

支援内容

アイデア段階の数種類のピンの形状（持ち手部分の形状、ピンの本数、長さ）、更には万が一、矢が当たった際でも、ピンの持ち手部分樹脂が弾け飛ばない工夫など、様々な方向から以下のポイントで検討を行った。

- ・刺さるピン部分の形状（抜き差しが楽なピンの本数、それぞれの長さ）
- ・持ち手部分の形状（手と指にやさしい形とサイズ、指穴径と穴配置）
- ・安全性検討（矢の衝突ダメージを軽減するラウンドエッジ形状）
- ・実用性検討（競技用目的で実使用試験、ピンの本数、長さ）
- ・材質検討（樹脂と金属ともに競技用として通用する素材）

等の技術要素で、従来技術・従来の製品形状と比較しながら、どこが権利化できるか検討した上で、知的財産戦略を構築していった。

その後、愛媛県発明協会と連携し、当社発明品に関する特許調査を実施。最終的には、愛媛県発明協会と連携し、県内弁理士より意匠権として出願を行った。

支援の効果

当社は国内最大手のアーチェリーショップと独占販売契約を締結する一方、アーチェリー界の国内外の著名選手からの評価も高く、順調な販売を続けている。

また、今回の知財戦略構築にて、諸外国の「ターゲットピン特許/意匠分析」を当社社員で行うことにより、どのような製品でも知財戦略やノウハウ戦略が必要であるという意識が社員に浸透した。知財専任者も育てている。

今後の展開

今年度開催の愛媛国体のアーチェリー競技にも、当社開発固定ピンが使用されることが内定している。

国内でのアーチェリー競技では標的に紙が使用されているが、海外での協議会ではウレタンフォームが主流で使用されている。ウレタンフォームを標的として固定ピンを試したところ、非常に良い結果が出ていることから、今後は改良を加えて、海外展開を図る予定である。

海外の知財戦略に関しても、必要に応じてサポートさせていただく。

事業者の声

現在の業務形態は注文を受けるのが主なので、自社のオリジナル商品を製作・販売したいと長年考えておりました。

今回の商品開発に伴って、知的財産権の重要性並びに取得方法に至るまで、支援をいただきました。またその実現過程において弊社の知財専任者も育てることができました。今後、改良を重ね「テックピンS」の海外展開及び他のオリジナル商品の開発に着手したいと考えておりますので、引き続きご支援とご指導のほどお願い致します。



代表取締役社長 増田 和俊

支援者の声

開発した独自製品をどのようにすれば、将来的にその製品の技術やブランド力を最大限発揮させることができるのかが重要なポイントとなります。

今回は製品企画段階から製品を将来どう育てていくのかを企業様と知財戦略構築という共通テーマを決めて支援しました。

(担当者 田中 孝直)